

# 一致団結 魅せた消防魂

第35回静岡県消防操法大会



## 団結力を地域防災力へ

第35回静岡県消防操法大会が9月13日、静岡県消防学校(静岡市)で開催され、県内10支部から110人の代表選手が出場しました。

本市からも、小笠支部代表として5人の団員がポンプ車操法の部へ出場し、機敏かつ正確な動きを披露しました。

控選手を含めた団員12人は、市内各分団から選抜され、今大会に向けて7月中旬から練習を開始。夜7時には集合して、家族や各分団員に支えられながら「悔いのない訓練を」と厳しい練習を重ねてきました。

競技が始まると、応援に駆け付けた団員や家族らが熱い視線と声援を送り、選手たちは見えない力を揺るぎない力に変えて練習の成果を出し切りました。

残念ながら入賞はできませんでしたが、一致団結した堂々たる操法に、会場中から盛大な拍手が沸き起こりました。



1選手たちの胸の高鳴りとは反対に、会場は緊張感が張り詰めた2水圧に耐えながら火点を狙う3心一つに健闘を誓う4水圧を調整しながら隊の状況に気を払う5息の合った吸管伸長6的確な指示を出す7火点へ向けて1秒でも速く8大会に向け共に修練を積んできた団員たち



【撮影協力：菊川市、牧之原市】